株式会社 INAX

本　社	〒479 愛知県常滑市鯉江本町3-6	TEL：(05693)5-2700
東京本部	〒104 東京都中央区京橋3-6-18	TEL：(0 3) 561-1710
札幌支店	〒060 札幌市中央区北2条西2-7 第2カミヤマビル	TEL：(011)271-1701
仙台支店	〒980 仙台市上杉1-6-11 日生勾当台ビル	TEL：(022)263-1710
東京支店	〒104 東京都中央区八丁堀3-10-5	TEL：(0 3) 555-3700
名古屋支店	〒461 名古屋市東区東桜一丁目4-16	TEL：(052)962-1271
金沢支店	〒920 金沢市香林坊1-2-20 朝日生命金沢第2ビル	TEL：(0762)64-1710
大阪支店	〒550 大阪市西区新町一丁目7-1	TEL：(0 6) 532-6081
高松支店	〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル	TEL：(0878)21-1701
広島支店	〒730 広島市中区八丁堀5-17 住友生命広島八丁堀ビル	TEL：(082)223-1710
福岡支店	〒812 福岡市博多区博多駅前四丁目1-1 日本生命第二ビル	TEL：(092)471-1710

ショールームとユーザーセンターのご案内　上記(本社・東京支店を除く)および下記。

高崎(0273-25-1257)	宇都宮(0286-34-2133)	大宮(0486-67-4848)	千葉(0472-22-1701)
横浜(045-242-9290)	静岡(0542-51-1701)	松本(0263-36-7410)	新潟(0252-28-1701)
京都(075-231-1716)	神戸(078-221-7717)	松山(0899-21-8164)	松江(0852-23-3503)

東京本部ユーザーセンター　〒104　東京都中央区京橋3-6-18　TEL：(03) 563-1710
東京ユーザーセンター(03-562-1710)　大阪ユーザーセンター(06-532-4001)
※大宮は年内改装休館中。千葉は9月末、神戸は10月末オープン予定。

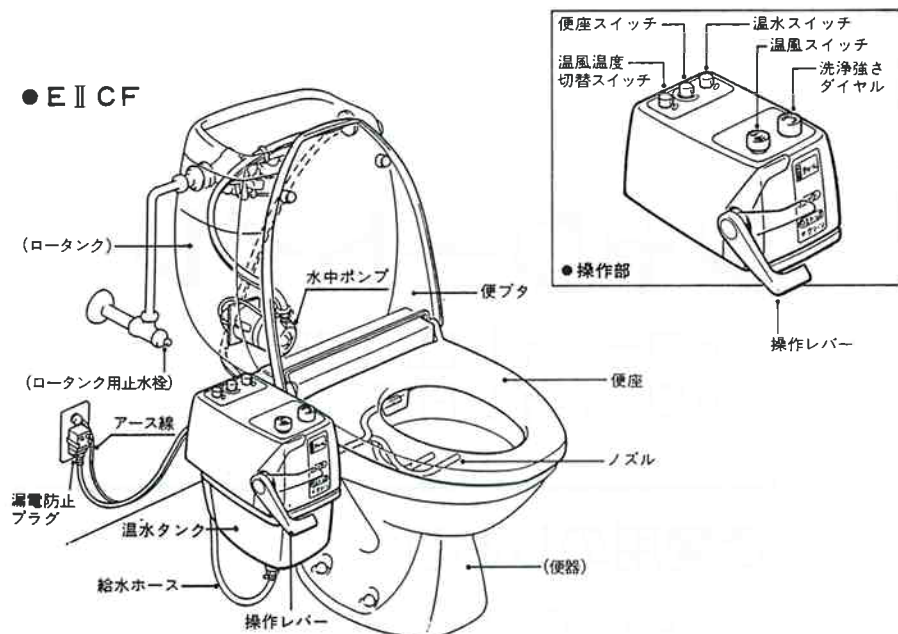
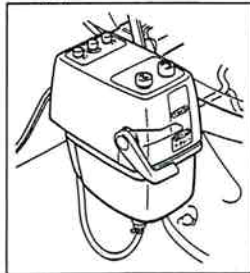
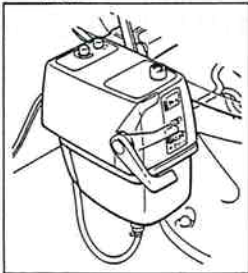
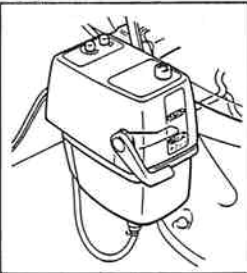
取扱店

シャワートイレ

シャワートイレEII、EIIF
シャワートイレEIIC、EIICF

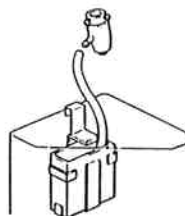
ご愛用のしおり

このたびは当社製品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこのしおりをよくお読みのうえ正しく
お使いください。

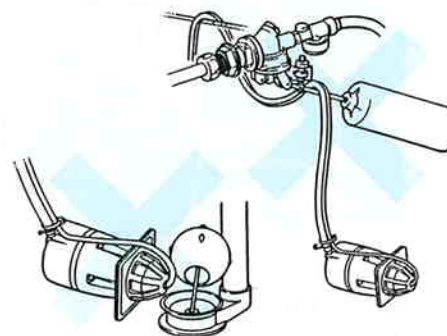
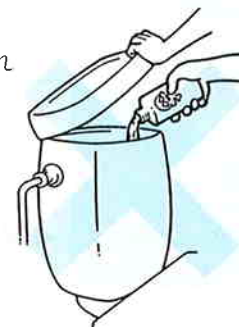
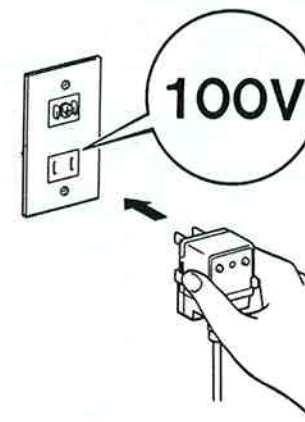
各部の名称

●別売部品

ハイタンク用ポンプキット
(C1-190H)
●ハイタンクに取り付けの場合

ポンプホース内水抜栓
(C1-002)
●寒冷地でホース内の水抜きをする場合

サービスタンク
(品番は15ページを参照してください)

ご使用前に

1 バスルーム内など湿気の多い場所に設置されていませんか。(故障や事故をおこすことがあります。)

2. 水中ポンプがロータンクの底に沈んでいますか。また、水中ポンプ並びに給水ホース、ポンプコード等がロータンク内のボールタップ、フロート弁の作動を妨げないよう固定されていますか？

3. ロータンク(ハイタンク)内の水はきれいですか。
消臭剤などは入れないでください。

4. 漏電防止プラグを交流100Vのコンセントに根元まで差し込んでください。漏電表示ランプが点灯したときはリセットボタンを押してください。

5. 漏電防止プラグの作動をテストしてください。
テストボタンを押すと漏電表示ランプが点灯し、リセットボタンを押すと漏電表示ランプが消灯すれば正常です。
漏電表示ランプが点灯している状態では通電されませんので、テスト後は必ずリセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯している状態にしておいてください。

6. 温水タンクの水量確認(空焚防止)
洗浄強さダイヤルを「強」にして操作レバーをクリーンに押してください。温水タンクが空の場合は30秒～1分で温水タンクが満水になり、ノズルから洗浄水が噴出します。

7. 温水スイッチを入にしてください。
(取り付けた最初は温水になるまで数分かかります)

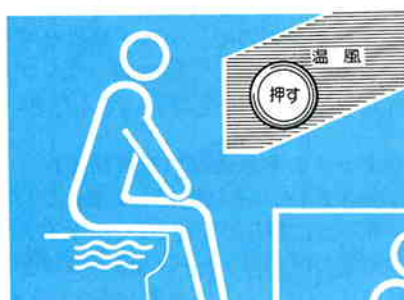
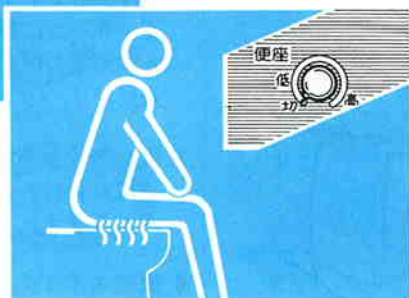
8. 便座スイッチを「高」に回してください。
(便座が暖かくなるまで数分かかります)

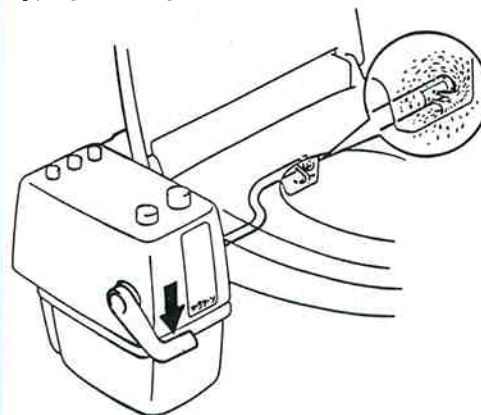
ご使用方法

シャワートイレEⅡCF、EⅡC、EⅡF、EⅡには下記の機能がありますので、機能を選んで使用ください。

◀クリーン
ノズルを洗浄する時や、ノズル内の冷水を排出する時、使用します。

◀シャワー
おしりを洗う時、使用します。

▲チャーム
(EⅡC、EⅡCFのみ)
ビデとして洗う時、使用します。

▲温風
(EⅡCF、EⅡFのみ)
ぬれた部分を乾かす時、使用します。

◀暖房便座
おしりを暖めます。

(クリーン)

シャワー・チャームの前に、操作レバーを「ストップ」位置から「クリーン」に2～3秒軽く押し下げてください。ノズルカバーの中でシャワーがいきよいよく噴出し、ノズル内にたまった冷水を排出し、シャワー洗浄、チャーム洗浄時に最初から適温シャワーでお使いいただけます。
シャワー・チャーム後もクリーンでノズルをきれいに洗浄します。クリーン後は、操作レバーをストップの位置に戻してください。

(シャワー)

クリーン後、操作レバーを「シャワー」の位置までひきあげると、ノズルが回転して肛門部真下より温水シャワーがでて、洗浄・マッサージをおこないます。
シャワーの水勢調節は、操作板上の洗浄強さダイヤルでおこなってください。

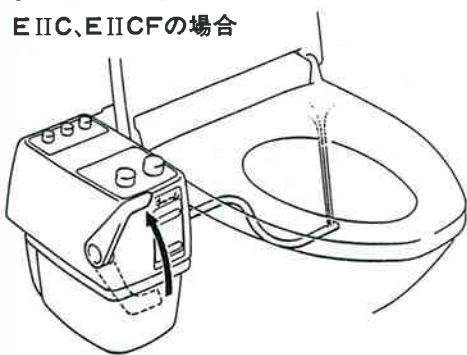
ノズルの先端には3つの穴があいていますので、肛門部周辺をまんべんなく洗浄することができます。

シャワー洗浄が終ったら、操作レバーを「クリーン」の位置までさげ、2～3秒ほど軽く押さえてノズルの洗浄の後、操作レバーを「ストップ」の位置に戻してください。

ワンポイント

①便秘の場合は、用便をする前にシャワーの水勢を多少強めにして肛門部周辺をマッサージしますと、シャワーの軽い刺激により自然なお通じが得られ、便秘解消にすぐれた効果を発揮します。
②痔疾の場合は、多少水勢を弱目にして使用してください。便秘の場合と同じように、用便前にマッサージしますと無理のない感じでご使用できます。
③使いはじめの頃は、あらかじめ洗浄強さダイヤルを「弱」の方向に回転させて水勢を弱めておき、使用しながら除々に水勢を強めて自分に適した強さにセットして使用されることをおすすめします。

〔チャーム〕

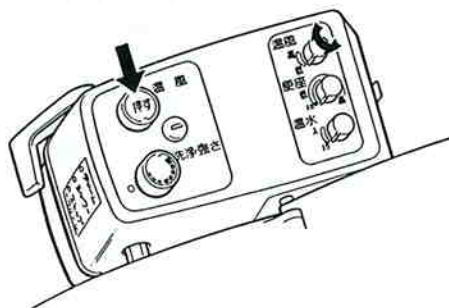
EⅡC、EⅡCFの場合

クリーン後、操作レバーを「チャーム」位置までひきあげると、ノズルが前方45°の位置まで回転して、温水シャワーが噴出します。
温水シャワーはレバーの操作により、真下近く（レバー下側）から前45°の範囲で噴出します。

チャーム水勢はあらかじめ、シャワー水勢より弱目に調節してありますが、使いながら本体上面の操作盤上の、洗浄強さダイヤルで最適の水勢に調節してください。
チャーム洗浄が終ったら、操作レバーを「クリーン」の位置までさげ、2～3秒ほど軽く押えてノズルの洗浄の後、操作レバーを「ストップ」位置まで戻してください。

ワンポイント

①お使いはじめの頃は、あらかじめ洗浄強さダイヤルを「弱」の方向に回転させて水勢を弱めておき、使用しながら除々に水勢を強くして自分に適した強さにしてください。
②生理中とかお風呂に入れない時には、特に不快な気分を一掃してさっぱりします。
③チャーム洗浄はあくまで洗浄用ですので、避妊の効果はありません。

〔温　風〕

EⅡCF·EⅡFの場合

●洗浄後、便器に腰をかけたまま右側にある操作板上の温風スイッチを押します。
●温風温度は、後部操作板上の温風温度切替スイッチを「高」「低」に切り替えて調節してください。

●洗浄と乾燥は同時に行なえない構造になっています。
●操作板の上には、体重をかけないようにしてください。
●温風スイッチは押している間のみ作動します。

ワンポイント

①洗浄後、トイレットペーパーで水滴をとっておくと、早く気持ちよく乾燥させることができます。
②温風乾燥の前に便器の汚物をレバーで流していただくと臭気が気になりません。
③お年寄りや、身体のご不自由な方、温度感覚のない方が、暖房便座や温風乾燥を長時間使用されますと、低温やけどを起こす場合がありますのでご注意ください。

〔暖房便座〕

温度調節は、右に回せば温度が上がり、左に回せば温度が下がります。（33℃～44℃まで調節可能。）便座温度は安定するまでに約10分かかります。
便座温度をお好みの温度に合わせておきますと、室内温度が変っても常に合わせた温度に保たれます。
（便座はすぐに暖たまりません。使用10～15分前に通電しておいてください。）

ワンポイント

■シートカバーを付ける場合
シートカバーは水滴などで濡れる場合がありますが、安全面については全く心配はありません。こまめにクリーニングして清潔にご使用ください。
取り付けの際には次のことがらにご注意ください。
●シートカバーは当社のACF−16をお使いください。市販のシートカバーは取り付けできない場合があります。
●温風装置付タイプ（EⅡF、EⅡCF）は、温風口をふさがないように特に注意して取り付けてください。

調節及びダイヤルの取り扱い方法

●温水スイッチ

(1)温水スイッチは本体内の温水ヒーターの切替スイッチです。
(2)温水ヒーターは、スイッチを入れてから適温になるまで10分程（水温15℃の場合）、かかりますので、冷水を使うとき以外はスイッチを入れたままにしておいてください。
(3)サーモスタットにより、自動的に設定温度を維持しますので、温水スイッチを入れたままでも維持費はわずかです。
(4)節電のため夜間温水スイッチを切られる場合は、翌朝使用される15分程前に温水スイッチを入れておいてください。

ワンポイント

①温水が沸き上がる時、水の膨張する分だけノズル先端から排出されますが、異常ではありません。
②特に凍結の恐れのある地域では、夜間も必ず温水スイッチを「入」にしておいてください。

●洗浄強さダイヤル

(1)洗浄強さの調節は、シャワー・チャーム洗浄をしながら、本体上面の操作板の洗浄強さダイヤルをまわしてお好みの強さに調節してください。

知っておいていただきたいこと

1.洗浄水について

●ノズルから使用前後に少量の水が出ることがあります。これは水路中の残水が出たためで故障ではありません。
●朝など、冷たい水が入っているときに温水ヒータスイッチを入れますと、タンク内の水が暖まるにつれて、膨張した水がノズルから多少出ることがあります。

2.温水温度

●洗浄水はサーモスタットにより一定の温度幅で温度調節しています。
●冬期には冷水(5℃)から適温(40℃)の湯が得られるまでに約10分かかります。
●温水温度の変更は外部からはできない構造となっています。

3.湯量について

●温水タンクの容量は2.2ℓです。
約1分間以上使用しますと湯温が低下します。
続けて使用の場合は3分間程度洗浄をとめ再度ご使用ください。暖かくなっています。

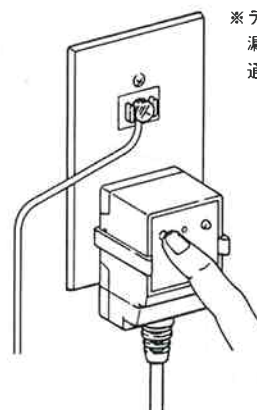
4.洗浄時間につて

●洗浄は連続で3分間以上使用しないでください。ポンプの寿命がいちじるしく短くなります。

5.その他

●新しいうちは温風が、少しにおうことがありますが、ご使用にともない消えますので心配ありません。
●ゴミの浸入防止のため、本体に付いているストレーナは絶対にはずさないでください。
●船舶などの直流電源や 200V電源での使用は事故の原因となりますので、おやめください。

お手入れ方法

漏電防止プラグの操作方法

●漏電防止プラグは非常時に備えて設置したものです。
月に一回程度テストボタンを押して、「切」になることを確認してください。(テストボタンの操作により、内部で模擬の漏電電流を起こし本品の動作を確認出来ます。)
●確認後はリセットボタンを押して通電状態にしてください。

お手入れの際のご注意

●お手入れの際は次の点にご注意ください。
(1)お手入れの際は、必ず漏電防止プラグの電源を切ってください。
漏電防止プラグのテストボタンを押せば電源が切れます。お手入れ後は、リセットボタンを押せば電源が入り漏電表示灯が消灯します。
(2)便座や本体(ABS樹脂)が汚れた場合は、カラブキをしてください。
頑固な汚れには、食器用中性洗剤のうすめた液を布につけ固く絞って拭いてください。洗剤使用後は水道水で湿らせた布で洗剤を拭きとってください。

※たわしの使用や、水かけによる流し洗いは、本体をいためたり、故障の原因となりますのでおやめください。
(3)ノズルが汚れた場合は、歯ブラシに中性洗剤をつけてブラッシングしてください。
(4)本体及び暖房便座取付部の狭いところの汚れも、歯ブラシで掃除をしてください。

**※殺虫剤・塩素性洗剤・シンナー・クレゾール・トイレ用洗剤などは本体をいためることがありますので使用しないでください。
また、便器やトイレ室内を掃除されるときも本体にかかるおそれがありますので使用しないでください。**

ストレーナの掃除方法

ストレーナに水アカやゴミが詰まると適正な性能が得られなくなりますので、定期的（1年に1回程度）ストレーナの掃除を行なってください。

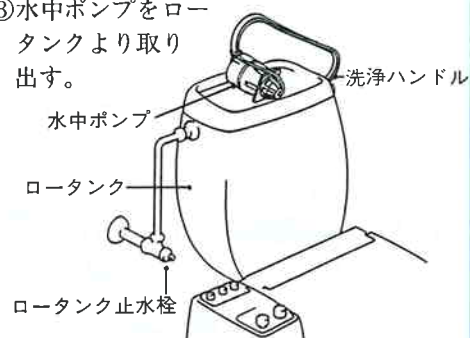
■準備するもの

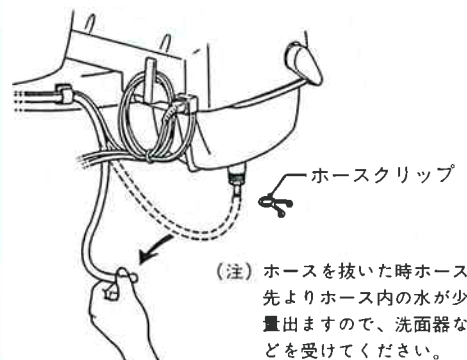
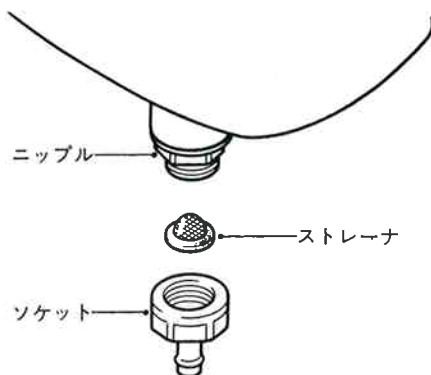
- ●洗面器（5ℓ以上）
- ●雑巾
- ●⊖ドライバー
- ●スパナ（24㎜）

■手順

①ロータンク止水栓を⊖ドライバーで右に回して閉める。

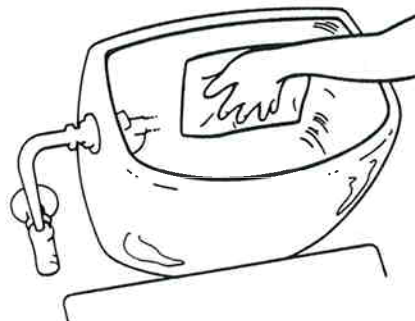
②ロータンク洗浄ハンドルを操作し、ロータンクの水をカラにする。

③水中ポンプをロータンクより取り出す。

④温水タンク下に洗面器を置き、ホースクリップを外してホースを抜く。

（注）ホースを抜いた時ホース先よりホース内の水が少量出ますので、洗面器などを受けてください。

⑤ソケットを左にまわしてとりはずす。

⑥ソケット内のストレーナの目詰まりを調べ、異物の付着があれば、水洗い等で取りのぞく。
ストレーナの向きに注意して逆の手順で組み付ける（凸が上向き）

●ゴミの浸入防止のためストレーナが必要です。必ず取り付けてください。

ロータンク（ハイタンク）の手入れ

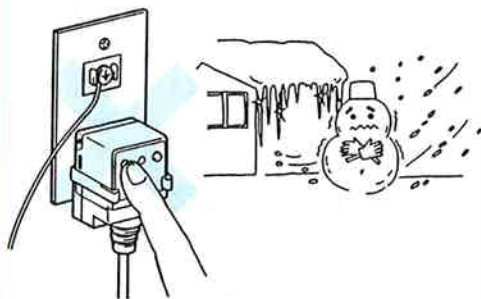
ストレーナの掃除と同時に、ロータンクの中の水あかやゴミなどを取り除いてください。（年1回程度）

お取り扱い上のご注意

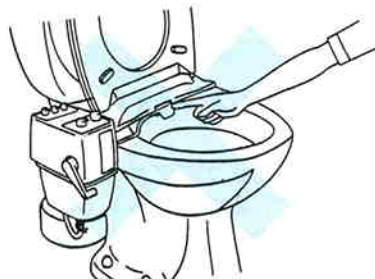
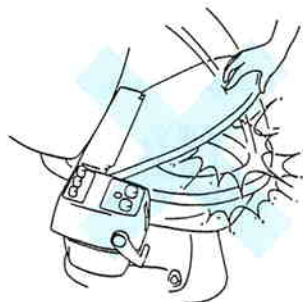
1 お年寄りや、身体のご下自由な方、温度感覚のない方が長時間ご使用のときは、低温やけどをおこすことがありますので、暖房便座スイッチを「低」にしてご使用ください。

2 水がかかったり、表面に結露を生じるような、湿気の多い場所での使用は避けてください。特に浴室内では使用しないでください。（故障や事故を起すことがあります。）

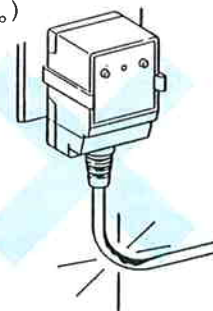
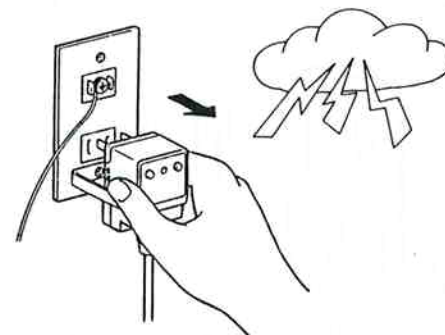
3 小さなお子様や、お年寄りなどが使用されるときは、取扱いなどについて十分注意してあげてください。

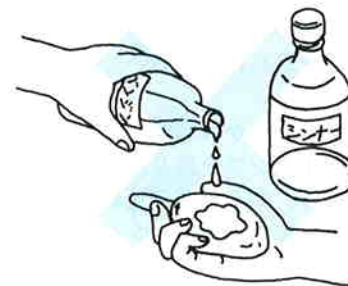
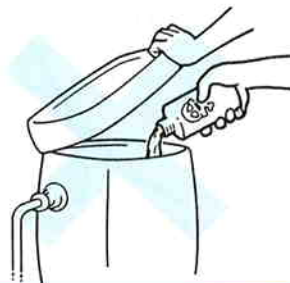
4 長期旅行などで長期間使用されないときは——
漏電防止プラグをコンセントから抜いて、電源を切ってください。
水の腐敗によるノズルの目づまりなどの故障を防止するため水抜きしてください。
（14ページ参照）

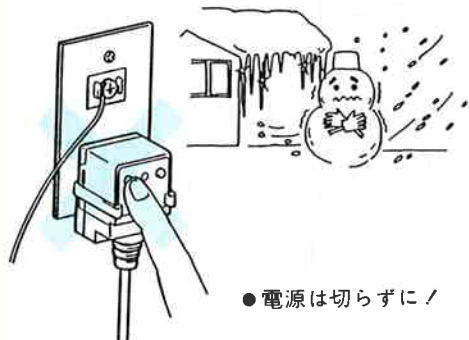
5 凍結の恐れのある場合は、器具の凍結防止のため、漏電防止プラグを切らないでください。

6 直射日光が当たらないようにしてください。(変色することがあります。)

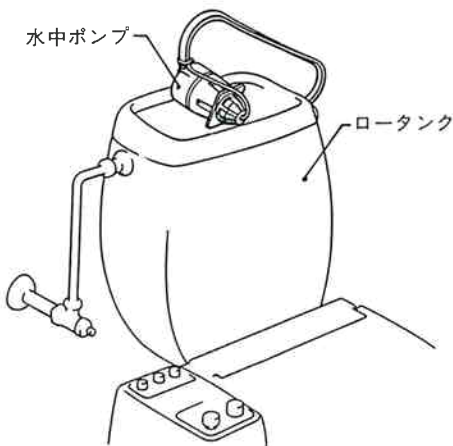
7 温風吹出口に指を入れたりふさいだりしないでください。ふさいだ状態で温風スイッチを押すと故障の原因になることがあります。

8 便座及び便ブタの開閉は乱暴に行なわないでください。(割れたり故障することがあります。)

9 便ブタや本体の上に乗ったり、重いものを乗せないでください。(割れたり故障することがあります。)

10 連結管に力を加えないでください。(抜けることがあります。)

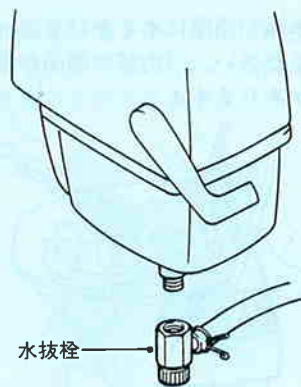
11 コードが傷んだままで使用したり、ガタついているコンセントで使用しないでください。(火災の原因となります。)

12 雷が発生しているときは、漏電防止プラグを抜いてください。

13 本体や便座に水をかけて洗わないでください。(内部の部品が傷むことがあります。)

14 塩酸系洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、たわしの使用は本体を傷めますので絶対やめてください。

15 ロータンク又はサブタンクには消臭液や洗浄剤などの薬品を入れないでください。(故障の原因になったり薬品で皮膚がかぶれることがあります。)

冬期凍結の恐れがある場合

器具の凍結防止のため、漏電防止プラグの電源を切らず本体の温水スイッチ及び暖房便座スイッチは必ず入れておいてください。

①凍結の恐れのある地域では、できるだけトイレ室内の暖房を行なうようにしてください。(特に夜間)
特に凍結の恐れのある夜間は、暖房便座の温度を最高にしておいてください。

②ロータンク内が凍結する恐れのある場合は、水中ポンプを取り出し、よく振って、水を切り、約５秒間空運転をしてポンプ内の水を出した後、タンクフタの上に置いてください。

③本体下のホースバンドをはずしてポンプホースを抜き、ホースの水を排出してください。

(注) ロータンクが流動式・水抜式の場合でもシャワートイレへのホース内の水は凍結防止出来ませんので必ず水抜きを行なってください。

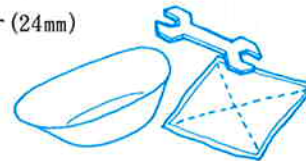
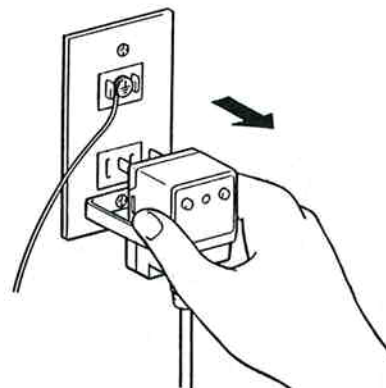
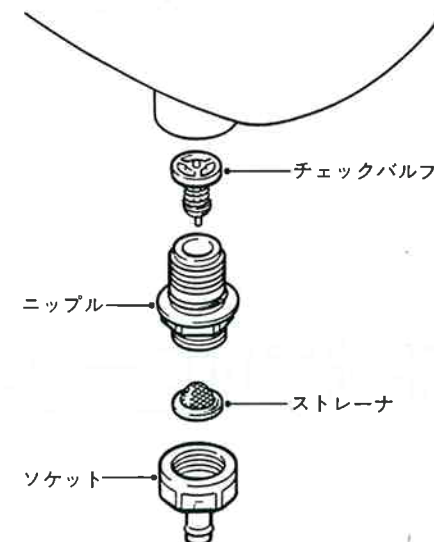
別売部品の水抜栓を使用するとホースを外さずに水抜きが可能です。
(C1−002)

④もしもシャワーノズル内の水が凍結した場合は、40〜50℃位のお湯で徐々にとかしてからご使用ください。
※熱湯は故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

長期間使用しない場合

器具内の水の汚れや凍結による破損を防止するため温水タンクの水を抜いてください。
(注) 水抜きの時は空焚防止の為、必ず温水スイッチを｢切｣にしておいてください。
(空焚すると作動しなくなります)

■準備するもの

- 洗面器(5ℓ以上)
- ⊖ドライバー
- スパナ(24mm)
- 雑巾

■手順

①ロータンク止水栓を⊖ドライバーで右に回して閉める。
②ロータンクの洗浄ハンドルを操作し、ロータンク内の水をカラにする。
③水中ポンプを取り出し、よく振って水を切り、約５秒間空運転をしてポンプ内の水を出し、ロータンクの上に置いてください。
④漏電防止プラグをコンセントよりはずし、温水スイッチを「切」にする。

⑤温水タンク下部に水受け(洗面器等)を用意する。
⑥ホースバンドをはずし、ポンプホースをぬく。
(注) ホースをぬいたときホース内の水が少量出ます。
⑦ソケットを左にまわしてとりはずす。
(スパナ24mm)
⑧ニップルを左にまわしてとりはずす。
(スパナ24mm)

■組付け手順

組み付けは、取り外しの逆順に行ないます。
注1.ストレーナおよびチェックバルブを忘れずに組み込むこと。
2.チェックバルブの向きに注意すること。(球形部分が下向き)
3.組み付け後、空焚を防止するためクリーンで注水してノズルから水が出ることを確認してから、温水スイッチを「入」にすること。

水洗便器使用上のご注意

(1)新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用ナプキンなど、詰まりやすい物は流さないでください。

(2)鉛筆、ボールペン、くし、歯ブラシなどは配管内に詰まりますので、誤って便器に落としたときには水を流す前に必ず拾い出してください。

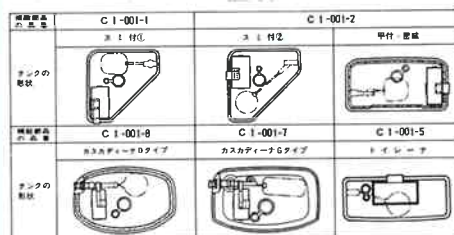
(3)万一、詰まった場合には、市販の吸引器を使って取りのぞいてください。
詰まったままで水を流しますと、便器から汚水があふれて床を汚すことがあります。(吸引器：商品名ラバーカップ)

(4)便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちない時はブラシで掃除してください。

手洗器付ロータンクの場合

衛生面を考え、洗浄水と手を洗った水を分離するサービスタンクセット（別売）を取り付けてください。

●サービスタンクの種類

	C I-001-1	C I-001-2	
タンクの形状	スミ付①	スミ付②	平付・壁掛
	C I-001-8	C I-001-7	C I-001-5
タンクの形状	カスカディーナDタイプ	カスカディーナGタイプ	トイレーナ

●サービスタンクの容量は1.3～1.5ℓで、約30秒温水が噴出します。

●サービスタンク内の水がなくなると水中ポンプが空転するので、30秒以上シャワーを使う場合は、必ずロータンクの洗浄ハンドルを「大」の方向に回して洗浄水を給水してください。(サービスタンクに水を入れるため必要です。)

手洗い吐水管に取り付けた分岐栓からの手洗い水が強すぎて飛散する場合は、分岐栓の水量調節スピンドルと、ロータンク止水栓の両方で調節してください。

水量調節スピンドルは左に回すと手洗い吐水量が増え、右に回すと少なくなります。
調節後は、サービスタンクに正常に給水されるか確認してください。

点検・修理依頼

より安全にご使用いただくために、必ずお求めの販売店にご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、またご不明な点があるとき
●コードのいたみやコンセントのガタツキ。
●コンセントやプラグの過熱。

下記の場合、定期的に点検を受けていただくことをお奨めします(有料)

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの
●温泉地域など、特に腐食をおこしやすいところで使用されているもの

※修理には特別の知識が必要です。ご自身での修理は故障や事故の原因となりますので絶対におやめください。

修理を依頼される前に

■修理を依頼する前に下記の項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
洗浄水が出ない	●電源コンセントに電気が来ていない。	●停電および配線を確認する。
	●漏電防止プラグがコンセントに差し込まれていない。	●漏電防止プラグを完全に差し込む。
	●漏電防止プラグのリセットボタンを押していない。	●リセットボタンを押す。 ●リセットボタンを押しても再び切れる場合は、漏電不良ですので、修理を依頼してください。
	●ロータンクに水がない	●断水中か又はロータンク止水栓が閉まっていないかを確かめる。
	●洗浄強さダイヤルが絞ってある。	●ダイヤルを「強」の方に回す。
	●ストレーナが目詰まりしている。	●ストレーナの掃除をする。(9ページ参照)
洗浄水が暖かくない	●温水スイッチが「切」になっている。	●温水スイッチを「入」にする。
	●長時間洗浄した。	●約10分間で暖かくなります。操作レバーをストップ位置にして約10分程お待ちください。
暖房便座が暖かくない	●便座スイッチが「入」になっていない。	●便座スイッチを「入」にする。
	●便座スイッチが適当な温度に調節されてない。	●便座スイッチを回して、適当な温度に合わせる。
冷風しかでない	●温風温度切替スイッチが「低」である。	「高」にする。

アフターサービスについて

■保証について

(1)この商品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
保証期間は、お取り付けの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

(2)保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店または当社支店・販社ユーザーセンターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

1．ご住所・ご氏名・電話番号
2．製品名・品番（便座フタ裏のラベルをご覧ください）
　ご購入日（保証書をご覧ください）
3．故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
4．訪問ご希望日

(3)保証期間経過後修理を依頼されるとき

お求めの販売店または工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。

(4)保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は

お求めの販売店または近くの当社支店・販社・ユーザーセンターにお問い合わせください。

EⅡシリーズ仕様

定格		AC100V 50/60Hz 587W(本体540W、便座47W)	
電源コード長さ		1.5m	
給水方式		水中ポンプ式	
本体材質		カバー・便座・便ブタ(ABS樹脂)、タンク・ベース(PP樹脂)	
製品重量		EⅡ、EⅡC……7.0kg EⅡF、EⅡCF……7.5kg	
洗浄機能	温水タンク	貯湯式 2.2ℓ	
	温水ヒータ容量	500W シーズヒータ式	
	温水温度	40±2℃	
	安全装置	安全サーモスタット(54℃バイメタル式)・温度ヒューズ(70℃)	
	操作方式	レバー式（EⅡC、EⅡCFはチャーム機能付）	
	ノズル穴径	φ1.2×3個	
	ノズル方式	スイング式	
乾燥機能	温度切替方式	ダイヤルスイッチ「高」・「低」2段	EⅡCF EⅡF のみ
	温風ヒータ容量	「高」275W、「低」138W(リボンヒーター)	
	安全装置	温度ヒューズ(130℃)	
	モーター	直流ブラシモーター	
暖房便座	温度切替方式	ボリューム・スイッチ式	
	制御方式	サーミスターによるIC制御	
	表面温度	33℃～43℃（室温0℃以上）	
	安全装置	安全サーモスタット(70℃バイメタル式)	
	ヒータ容量	47W	
漏電防止プラグ		定格感度電流15mA 動作時間0.1秒以下	
カラーバリエーション		5色(LW1.L12.L32.L52.L72)	